

# 07

## 事務所ビルで温度成層型水蓄熱方式 +大温度差空調システムを活かした空調リニューアル

この庁舎事務所ビルでは、既存の空調設備リニューアルに伴い、高効率な水蓄熱式空調システムを採用しました。蓄熱方式を温度成層型とし、二次側空調方式を大温度差空調システムとすることで、蓄熱槽容量や搬送動力を従来方式に対し50%以下まで低減できるよう徹底的な空調システムの合理化を図りました。

### 改善効果

- 蓄熱方式による負荷平準化により従来のシステムに比べピーク電力52kW 低減
- ランニングコスト:非蓄熱式空調システムとの比較で約19%低減\*

※ 締結いただけるご契約(メニュー)の詳細につきましては、各電力会社にご確認ください。

### 設備概要

[建物概要]

地上3階・地下1階、建築面積1,573m<sup>2</sup>、延床面積4,742m<sup>2</sup>

[水蓄熱空調]

○冷房能力:空冷ヒートポンプチャラーユニット 172kW×1台

○冷温水蓄熱槽:60m<sup>3</sup>×1基

○二次側空調設備:冷温水二次側ポンプ(INV制御)5.5kW×1台

